

平成22年度 高知県立須崎高等学校 学校評価シート

1 目指す学校像

高い知性・豊かな人間性・強い意志・自主性

2 本年度の教育目標

- 1 自主性と判断力を高めよう
- 2 よりよい人間関係をつくろう
- 3 さわやかな生活空間の創造に努力しよう

3 評 価

項 目	昨年度の課題	本年度の目標	目標達成のための手だて	自 己 評 価	学校関係者評価	今後の課題
総合学科におけるコース選択の在り方(全日制)	それぞれの系列について、生徒、保護者の理解を図り、系列選択という契機を通じて責任意識やモチベーションの高揚を目指す。	それぞれの系列を活かして、自己の進路の実現に向け努力する意識の醸成を図る。	1 コース選択の意義と目標に向けて、生徒、保護者に丁寧な説明を実施する。 2 生徒と関係教職員との話し合い、相互理解を高める。	自己の系列選択が進路とミスマッチと答えた生徒が3年次生で15%おり、より適切な進路指導、系列選択指導の仕組みづくりが必要である。	B	適切な系列選択ができた生徒は、充実した学校生活が送れていると評価されている。 B
進路指導の充実(全日制)	授業の充実と家庭学習時間の確保を通じた進路についての意識の高揚。	授業に集中する学習態度や家庭学習の定着により学習意欲の醸成を図り、生徒一人一人の希望する進路を実現する。	朝補習、放課後補習を充実させ、上級学校への進学希望を支援するとともに、就職アドバイザーによるきめ細かい就職指導を行う。	国公立大学等への進学は昨年並み。就職面では、外部環境も厳しかったが、例年並みに地元企業、公務員等に内定している。	B	地域の学校として、国公立大学への進学者を増やさなければならぬ。また、勉強と部活動の両立を求める声が高い。 B
目標を持った学校生活(定時制)	個に応じた指導と生活環境の美化。	単位制の良さを活かした個に応じた定時制教育の充実。	進路についてのモチベーションを高めながら、それぞれの生徒に対して、分かりやすい授業を実施する。	進路意識の醸成のために、講師を招き、話をしてもらうなど、生徒の進路意識の高まりに心がけた。就職希望者のうち1名が地元企業の採用となった。	B	学校行事に参加していただいたOBから意見を聴取しているが、目標を持つことの大切さが指摘されている。 B